

【2 年生 思春期講座】

6月17日(月)の3・4時間目に、性に関する知識や理解を深めると共に、赤ちゃんとの触れあいを通して命の尊さを感じることをねらいとした思春期講座を2年生が受講しました。前半は、誕生学アドバイザー、思春期保健相談士の中井聖先生から誕生学プログラムや性に関する知識を学びました。後半は、6グループに分かれ、6人の赤ちゃんとお父さん、お母さんをゲストに赤ちゃんに触れあいました。赤ちゃんを実際にだっこしたり、お父さん、お母さんから話を聞いたりして、将来親になるという意識や心構えを育む機会になりました。



誕生学プログラムから



グループに分かれて



古室彩那(2-1)さんより

実際に赤ちゃんをだっこしてみると、首がまだすわっていなかったり身体がフニフニしたりして、とても繊細な存在だなと感じました。お父さん、お母さんのリアルなお話が聞けて、とても良い時間を過ごすことができました。

堀江幾人(2-2)さんより

今回の活動を通して、子育ての大変さを学びました。赤ちゃんは泣くことでしか自分の思いを伝えることができないので、それを理解するのは難しいと思いました。講座から学んだことを将来に生かしたいと思います。



【陶芸体験】

6月17日(月)～19日(水)の5・6時間目に、常陸大宮の陶芸家、菊地弘氏を講師として招き、創立120周年を生徒たちの手による生け花で祝おうと、陶芸による花器制作を全校生徒で取り組みました。菊地さんからは、粘度の特性として、焼き上がったときは13%程度縮むこと、焼き物作りの基本として土台は大切なため1cm以上にすることや湿り気を大切にすることを学びました。花器が完成すると「焼き上がりがとても楽しみ」「よい経験になった」など、生徒は感想を述べていました。それぞれが作った花器に、花材をどのようにいけるのか楽しみです。



菊地弘氏の説明から



1年生の授業から



2年生の授業から



3年生授業から

栞久保勇斗(1-1)さんより

今回の活動を通して難しかったことは、花器の土台を作った上に粘土を積むことでした。しかし、菊地先生が難しいところを優しく教えてくださったため、楽しく体験できました。陶器作りを初めて体験し、勉強になりました。

